

全球異常気象監視速報（臨時報）

[ヨーロッパ南東部の熱波について]

1. 概況

ヨーロッパ南東部では7月 18～24 日の7日間平均気温が異常高温となり、この異常高温に関連して各国で死者を含む被害が報じられた。

2. 異常高温(熱波)の状況

ルーマニアやブルガリアなどヨーロッパ南東部では、7月中旬後半から高温傾向が顕著となり、22日以降には各地で日最高気温 40℃以上となった(図1)。表1に各国の首都における主な観測値を示す。ルーマニアのブカレストでは、18日頃から日最高気温が平年より 10℃以上高い日が続いた(図2)。ブカレストでの本年7月の平均気温(25日までの暫定値)は約 26℃で、7月としては少なくとも 1971 年以降で最も高い記録となる可能性が大きい(これまでの最高は 2000 年7月の 24.0℃)。

こうした異常高温の要因として、アフリカ大陸方面から南よりの暖かい風がヨーロッパ南部に吹き込んだこと(図3)と晴れた日が続いたことが考えられる。また、イタリアやギリシャでは山地の風下側で特に気温が高くなり、フェーン現象も重なっていると見られる。

なお、ヨーロッパ南部では本年6月下旬にも同じような気圧配置となり、イタリアやギリシャで日最高気温が 45℃前後に達する高温が発生している。

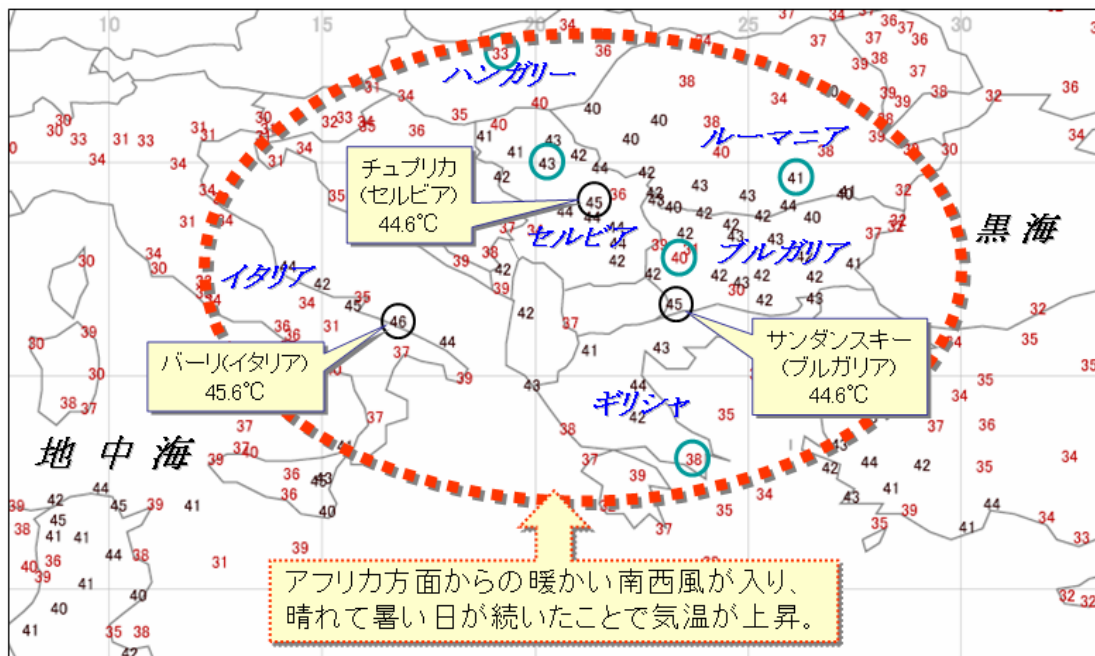


図1 ヨーロッパ南東部の日最高気温(平成19年7月24日)

日最高気温が 30℃以上になった地点の分布を示した。気温が特に高くなった地点については地名と値を吹き出しで示した。緑色の円を付した地点は表1に載せた都市を示す。各国の気象機関からの地上気象通報データによる。

表 1 主な地点（首都）の日最高気温
 ※平成 19 年 7 月 1～25 日の各地点の気象通報データから最も高い日の値を示す。

地点名（国名）	日最高気温（日付）
ブカレスト（ルーマニア）	40.7℃（7/22）
ソフィア（ブルガリア）	39.8℃（7/24）
ブダペスト（ハンガリー）	40.7℃（7/20）
アテネ（ギリシャ）	41.0℃（7/22）
ベオグラード（セルビア）	43.2℃（7/24）

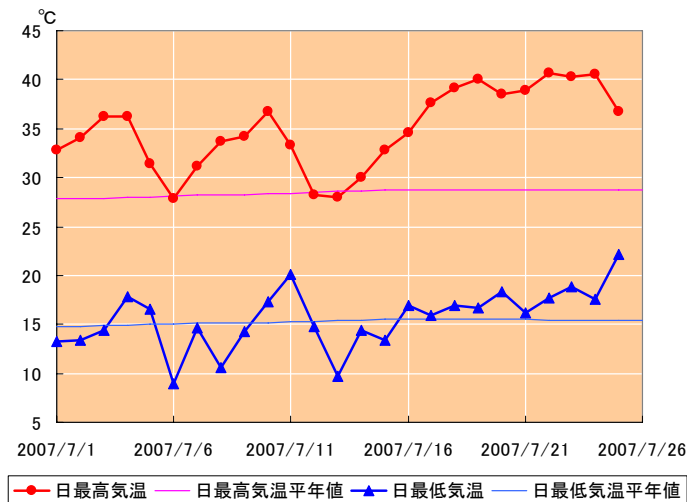


図 2 ブカレスト（ルーマニア）の気温経過図

赤い折れ線が日最高気温、青い折れ線が日最低気温、細い実線はそれぞれの平年値を示す。ルーマニア気象局からの通報データによる。平年値は 1961～1990 年の統計値。

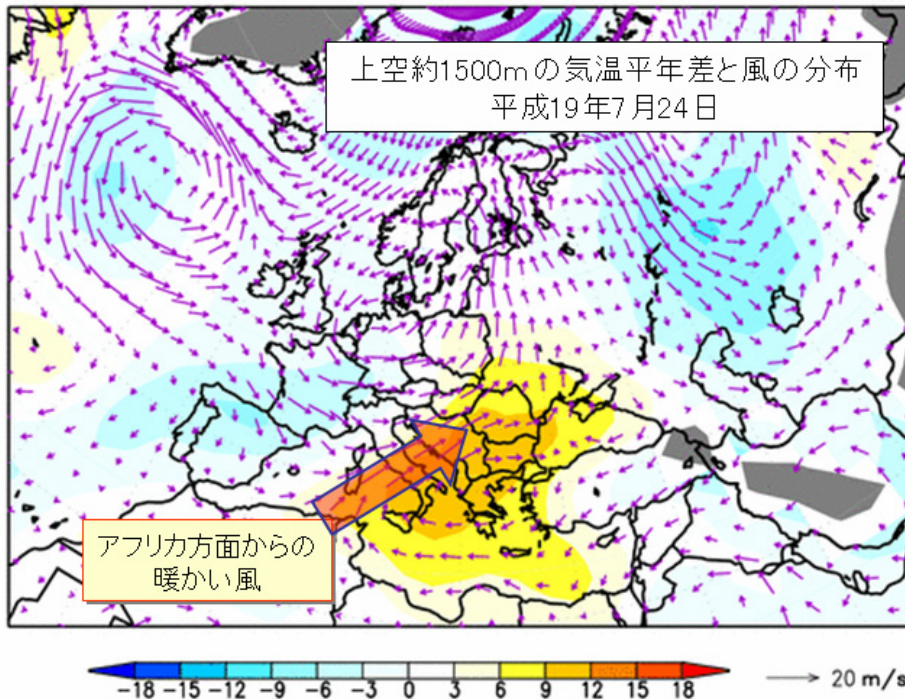


図 3 上空約 1500mの気温平年差と風の分布（平成 19 年 7 月 24 日）
 色の陰影は上空約 1500m（850hPa）の気温の平年差、紫色の小さい矢印は風向・風速を表す。ヨーロッパ南東部の上空約 1500m では、アフリカ方面からの南西風が入り、気温は平年より 9℃以上高くなっている。平年値は 1979～2004 年の統計値。